



## 食農教育活動 ～待ちに待った実食～

湊城西小学校5年生75人を対象に、今年3回目の食農教育活動を行いました。この活動は作物の成長過程を学ぶと共に、実際に食べてみて『食と農』の大切さを実体験してもらうことを目的に実施されております。

今回は「じゃがいもの収穫体験」を実施。5月の定植時に女性部長が「収穫時にはじゃがいもの塩煮を食べさせますよ！」の約束を覚えていた児童たちは、それを楽しみに収穫開始前からテンション上がり気味で作業が開始されました。

収穫作業では軍手をはめた小さな手で勢いよくじゃがいもを掘り上げる児童や、ひっぱりあげて尻もちをつく児童もいて賑やかに収穫した結果、てんこ盛りのじゃがいもの山が2つ出来るほどの大収穫に児童たちも大喜び。

待ちに待った試食会では女性部長が「チョコやキャラメルが高価であった時代、子供たちはおやつ代わりにこれを食べていた」ことを伝えると「自分たちが育てたじゃがいもとても美味しい」とあっという間にたいらげていました。

変な形もあったよ～



なかなか抜けないよ～

みんなで食べればおいしさupよ～



もう持ちきれないよ～

## 第62回秋田県JA女性大会並びに秋田県家の光大会

秋田市文化会館に全県から約780名の女性部員が参集し盛大に開催されました。JAあきた女性協会长職と県役員を6年以上つとめて退任した方に贈られる「JAあきた女性組織協議会長表彰」と「秋田県農業協同組合中央会長感謝状」を受けた女性部長の佐々木博子氏は「今後も、女性部員としてJA女性部の益々の発展のために一緒に頑張っ



て参りたい」と謝意を述べました。式典終了後に行われた「家の光記事活用体験発表コンクール」では女性部能代支部の飯坂秀子氏（鶴形）が登壇し「「そば」でつながる地域と仲間」と題しこれまでの鶴形そばの生産振興の取り組みについて発表しました。発表後、お話を伺うと「自宅での練習時に高校生の孫に鶴形ナマリを注意するよう指導を受けて臨んだが、緊張してナマってしまったかも」と安堵した笑顔で教えてくれました。